



中国の文化Ⅸ 第4回

春秋戦国時代

儒教の誕生

これは戦後の法政大学の発展に寄与した大内兵衛（一八八八〜一九八〇）元総長が、大学での学問のあり方を学生に伝えるために書き残したある書物の一節である。この書物とは何か？



學而不思則罔
思而不學則殆

『論語』為政篇

孔子は言った。

「人から学ぶだけで、自分で考えよ
うとしない、それでは意味がない。
自分で考えるだけで、人から学ば
うとしない、それでは時間の無駄
だ。」

論語注疏一

不同之事忠信為周附黨為此言君子常行忠信而不私
相阿黨小人則反是 注忠信為周 正義曰魯語文也 子曰

學而不思則罔

包曰學不尋思其
義則罔然無所得

釋

罔本又
作罔 思而

不學則殆

不學而思終卒不得
徒使人精神疲殆

疏

子曰至則殆 正義
曰此章言教學法也

學而不思則罔者言為學之法既從師學則自思其餘蘊義雖從
師學而不尋思其義則罔然無所得也思而不學則殆者言但自
尋思而不從師學終卒不得其 釋 殆音待依
義則徒使人精神疲勞倦怠也 釋 義當作怠 子曰攻乎



中国、塾や教室続々

儒教復権

中国で「封建主義の道徳」と批判された儒教が復権、市民生活に定着しつつある。孔子の「論語」を音読する子ども向けの塾は花盛り。ビジネスマンの儒教教室も人気だ。急速な国際化や経済成長が中国人としての自己意識を求めさせる。とはいえ、格差の拡大や拝金主義の横行には不満が強い。国民をまとめる思想を探る当局の思惑もかいま見える。(南京(中国江蘇省)=塚本和人)

ベビーカーの「生徒」も



「子曰、学而時習之、不亦説乎」(子曰、わく、学んで時にこれを習う、またよこばしからずや)
明などの都として栄えた南京。毎週土曜日の午前、中心部の鴨鳴寺境内に論語の一節を読む大きな声が響く。小さな講堂に机が並び、壁には孔子



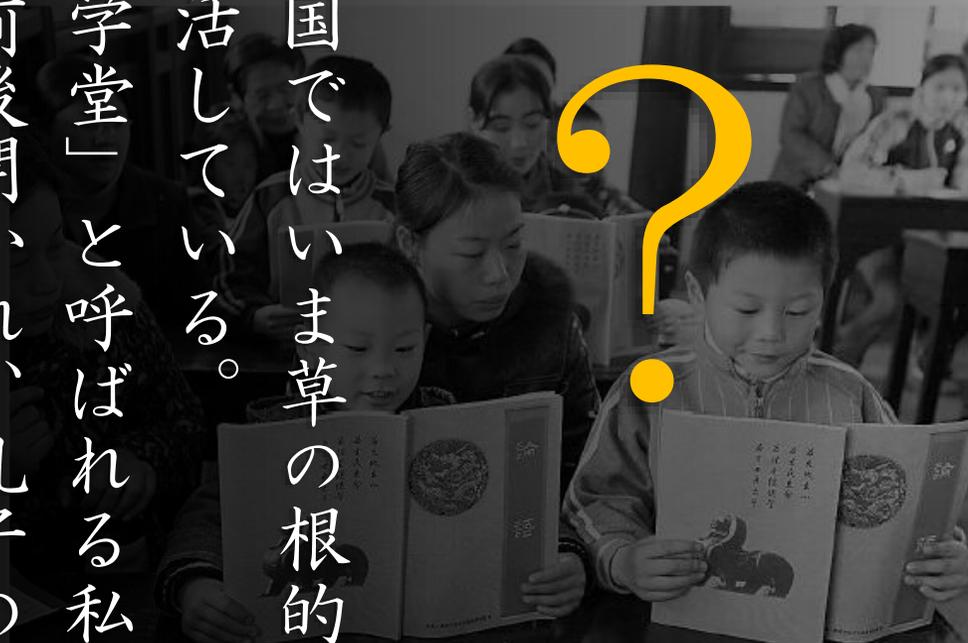
学而時習之、不亦説乎

の人物画「写真」がある。5〜6歳の幼稚園児約30人が親と並んで座り、唐代の古典音楽の伴奏で歌うようにリズムをつけて音読していた。1日2時間で2段落を暗記させる。
昨年3月、南京航空航天大学の講師で哲学を教える戴伝江さん(38)のグループがボランティアで始めた。幼稚園の先生らと指導法を考え、教材は手作りだ。学費は無



儒教(孔子)と中国 春 秋時代の思想家 孔子に始まる 政治・倫理思想。徳治主義による秩序維持と君主権の基盤となる。「論語」は孔子の死後、弟子

がまとめた言行書。中心思想は仁で、孝と悌(てい)の家族道徳を基礎とした。清朝末まで体制教育として機能し、20世紀に入ると封建制度を支えるとして批判され、新中国成立後の文化大革命な



幼稚園で「論語」を音読する子どもと親たち=南京市で、上田幸一撮影

孔子生誕祭に 政府幹部の姿

孔子の故郷、山東省曲阜。孔子廟などが世界遺産に登録され、年間600万人が訪れる儒教の聖地だ。昨年9月の孔子の誕生日には、生誕2556年を記念した省政府などが主催した「国際孔子祭り」が開かれ、中央政府の幹部や企業幹部、学者が集った。
市長が祭文を読み上げた。「孔子への崇拜を表すとともに孔子思想を国内外に広げるため」と、曲阜市共産党委員長が祝詞を述べた。

一方、中国ではいま草の根的な儒教教育が復活している。全国に「学堂」と呼ばれる私塾が、一〇〇〇校前後開かれ、孔子の生涯を描いた映画やテレビドラマも作られている。
なぜいま儒教なのだろうか？



講義内容

第一節

春秋戦国時代

～五百年以上におよぶ戦乱の時代の始まり

第二節

孔子の生涯と儒教経典

～秩序ある世界の復活を求めて

學而不思則罔
思而不學則殆

第一節

春秋戦国時代

五百年におよぶ戦乱の時代の始まり

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

王の失政と周の衰退

〔解説〕

周は神権政治を行う殷を滅ぼし、天命論に基づく徳治主義によって人間中心の秩序ある社会を築いた。しかし、その周も建国から二百年あまりが過ぎると、王たちのたび重なる失政によって、しだいに民心を失っていった。

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-



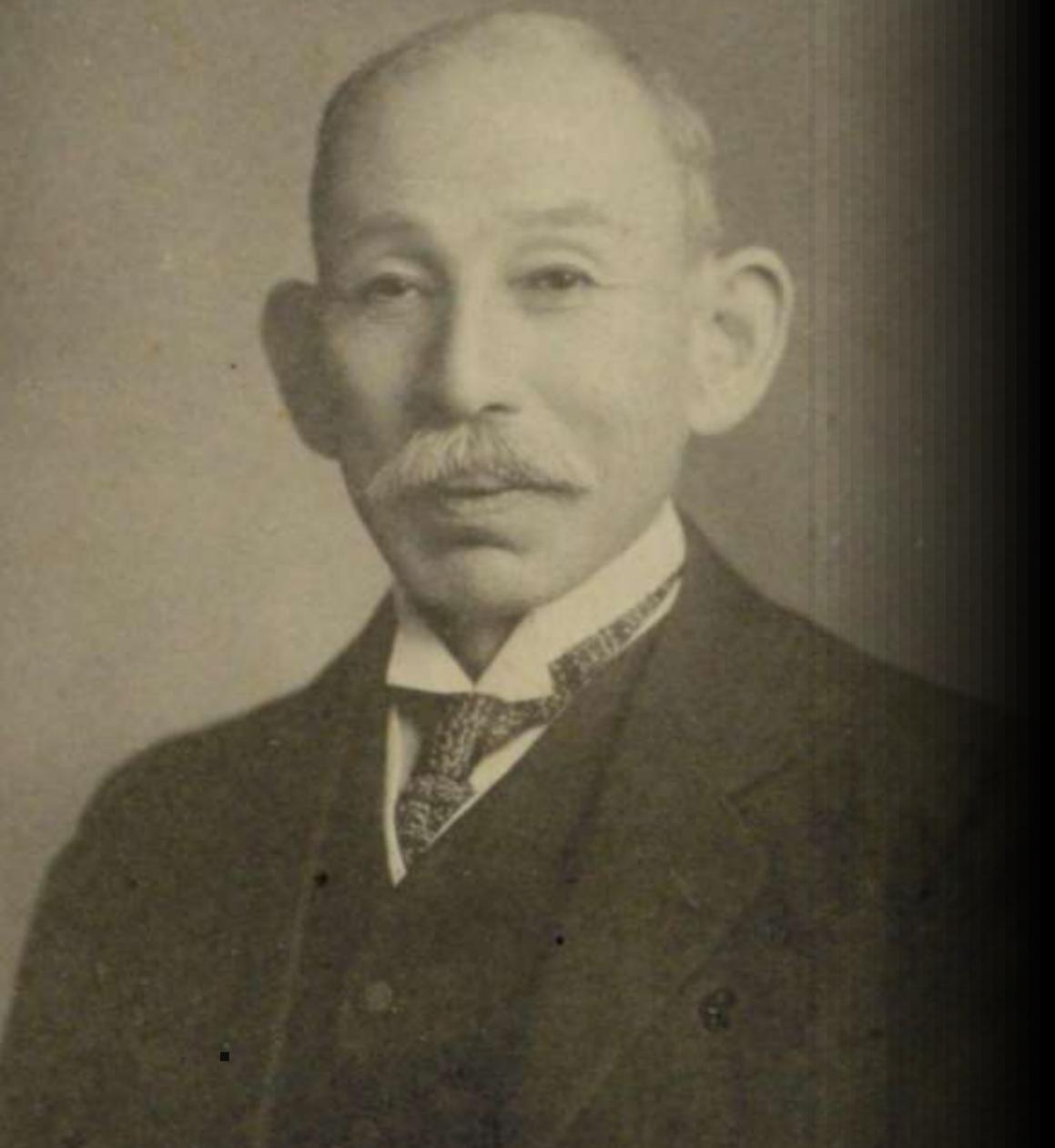
周の第十代・厲王は、その暴虐非道な政治によって王位をおわれ、周は一時期、王の空位時代を迎える。この時代を示す言葉は、現在も monarchy(君主制)に対する republic の訳語として使われているが、この言葉とは何か？

「共和」の由来

〔解説〕

君主を主権者とする「君主制」に
対し、君主のいない政体を「共和
制」という。中華人民共和国の国名
の一部にもなったこの言葉を考案し
たのは、江戸時代末の日本の学者た
ちであった。

その経緯を元東京帝国大学教授で
法学者の穂積陳重（ほずみのぶしげ一八
五六〜一九二六）は『法窓夜話』（有斐閣
一九一六年）の中で次のように紹介し
ている。

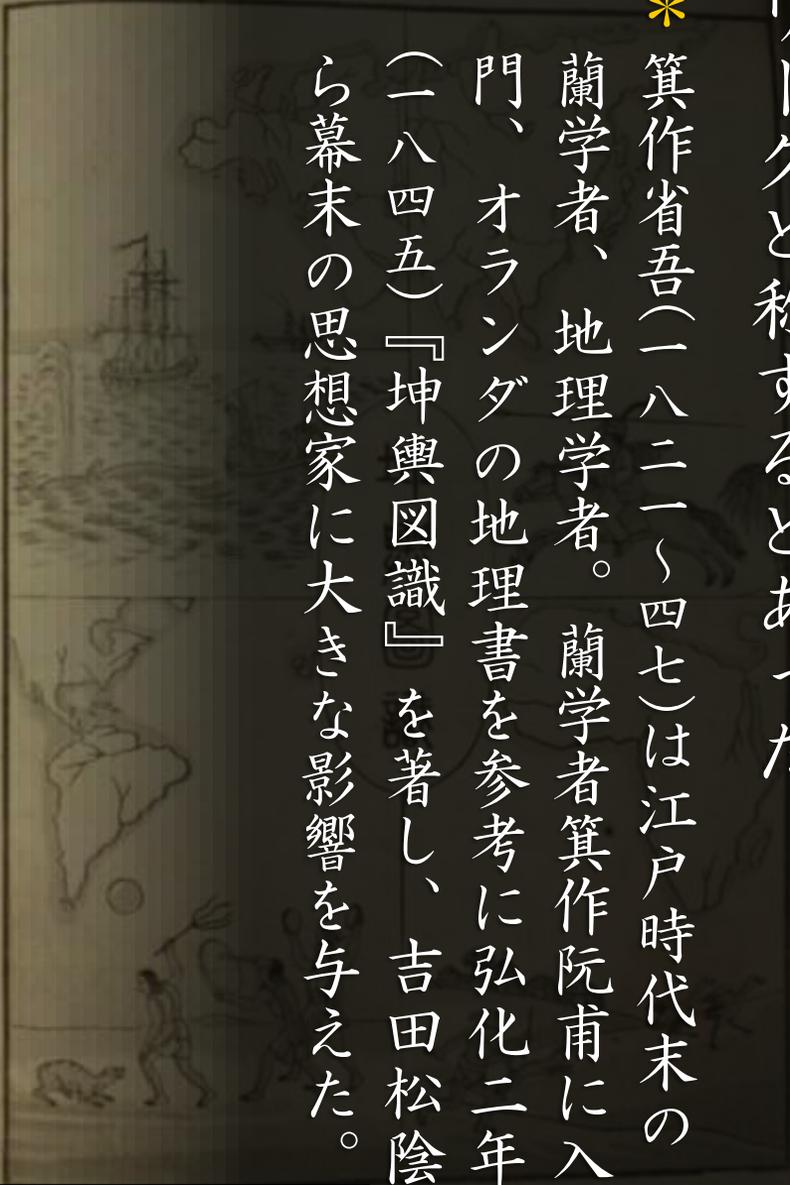


穂積陳重(1856-1926)

穂積陳重『法窓夜話』

箕作阮甫先生の養嗣子省吾氏*は、和蘭の地理書を根拠として地理学上の著述をなした際、オランダ語のレプユブリク(Republiek)という字に出会い、その字義を辞書で求めたところ、君主のない政体をレプユブリクと称するとあった。

*箕作省吾(一八二一〜四七)は江戸時代末の蘭学者、地理学者。蘭学者箕作阮甫に入門、オランダの地理書を参考に弘化二年(一八四五)『坤輿図識』を著し、吉田松陰ら幕末の思想家に大きな影響を与えた。



弘化二年乙巳刊行

坤輿圖識

全三冊

美作 夢霞樓藏版

1104
1-3

箕作省吾(1821-46)

穂積陳重『法窓夜話』

しかし、国に君主がない政治とい
うことは、当時の我国人にとって
殆んど了解の出来ない事であつたの
で、これに対して如何なる訳語を用
うべきであるかと思案の余り、氏は
当時の老儒大槻磐溪先生*を訪ねて
その適當なる訳語を問うた。

*大槻磐溪(一八〇一〜七八)、幕末から明
治初期の儒学者。



弘化二年乙巳刊行

坤輿圖識

全三冊

美作

夢霞樓藏版



1104
1-3

穂積陳重『法窓夜話』

磐溪先生は対えて言われるには、
国として君主のないのは変体ではあ
るが、支那にもその例がない事もな
いのである。かの周の時代に、王が
無道の政を行って、国民の怨を買い、
遂に出奔した時、周・召の二宰相が
ともに協力して、十四年の間国王な
しの政治をした事が「共和」という
から、国王のない政体は、共和政治
というが宜しいであろうといわれた。



坤輿圖識



弘化二年乙巳刊行

坤輿圖識

全三冊

美作

夢霞樓藏



1104
1-3

司馬遷『史記』周本紀

害多矣天地百物皆將取焉可專也所怒甚多而不備大難以是教王其能人者其能而布之上下者也使神人百物無不得極猶曰怵惕懼怨之來也故頌曰思文后稷克配彼天立我蒸民莫匪爾極大雅曰陳錫載周唐國曰言文王布錫施利以載成周道也是不布利而懼難乎故能載周以至於今今王學專利其可乎匹夫專利猶謂之盜王而行之其歸鮮矣榮公若用周必敗也厲王不聽卒以榮公為卿士用事王行暴虐侈傲國人謗王召公諫曰韋昭曰召公諫曰召康公民不堪命矣王怒得衛巫韋昭曰衛國之巫也使監謗者以告則殺之其謗鮮矣諸侯不朝三十四年王益嚴國人莫敢言道路以目韋昭曰防民之口甚於防水水壅而潰傷人必多民亦如之是故為水者決之使導為民者宣之使言故天子聽政使公卿至於列士獻詩

警獻典韋昭曰史獻書師箴賦賦章昭曰无咎子曰賦賦蒙誦章昭曰有實子而賦賦也百工諫庶人傳語韋昭曰庶人卑賤見而諫也近臣盡規近臣盡規使之屬親戚補以事行而不悖民之有口也猶土之有山川也財用於是乎出猶其(厲) 王之行い、暴虐侈傲。国人、王を謗(そし)る。召公諫めて曰く「民、命に堪えず」と。王怒りて、衛の巫を得て、謗る者を監せしめ、告ぐれば則ち之を殺す。(中略) 厲王喜び召公に告げて曰く「吾、よく謗るを弭(と)む。すなわち敢えて言わず」と。

害多矣天地百物皆將取焉何可專也所怒甚多而不備大難以是教王王其能久乎夫王人者將專利而布之上下者也使神人百物無不得極猶曰怵懼怨之來也故頌曰思文后稷克配彼天立我蒸民莫匪爾極大雅曰陳錫載周是利猶謂之盜王而行之其歸鮮矣榮公若用周必敗也厲王不聽

司馬遷『史記』周本紀

王學專利其可乎匹夫專

(厲王の)三年(紀元前八四一年)、

(国人)相ともに叛き厲王を襲う。

厲王、彘(てい)*に出奔す。

(中略)

召公・周公の二相、政を行い、号

して曰く「共和*」と。

共和十四年、厲王、彘に死す。

以事行而不悖民之有口也猶土之有山川也財用於是乎出猶其有原隰衍沃也唐書曰下平曰衍有說曰天衣食於是乎生口之宣言也善敗於是乎興行善而備敗所以產財用衣食者也夫民慮之於心而宣之於口成而行之若壅其口其與能幾何王不聽於是國莫敢出言三年乃相與畔襲厲王厲王出奔於彘韋昭曰彘晉地漢為縣屬河東今曰永安厲王太子靜匿召公之家國人聞之乃圍之召公曰昔吾驟諫王王不從以及此難也今殺王太子王其以我爲讐而懟怒乎夫事君者險而不讐懟韋昭曰在危險之中怨而不怒況事王乎乃以其子代王太子太子竟得脫召公周公二相行政號曰共和共和十四年厲王死于彘太

*彘(てい)：地名。現在の山西省霍県の東北。

*共和：『漢書』古今人表の(唐)顔師古注や(宋)王應麟の「詩地理考」によれば、共は国名、和は共伯の名という。

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

周の東遷

厲王の死後、その子・宣王が即位し、周は一時期、中興の時代を迎える。

しかし、その中興も長くは続かなかった。第十二代の幽王が、祖父の厲王と同じく失政を繰り返した結果、周は父祖の地を追われ、はるか東にある洛陽に都を遷した。

周 BC1046?-BC256

周

西周の都・鎬京

洛陽





烽火、諸侯を戯る

司馬遷『史記』が伝える周の東遷

司馬遷『史記』周本紀

子釐長於召公家二相乃共立之爲王是爲宣王宣王卽位二相
輔之修政法文武成康之遺風諸侯復宗周十二年魯武公來朝
宣王不修籍於千畝號文公諫曰賈逵曰文公文王母弟號仲之後爲王卿士也
韋昭曰文公號叔之後西號也宣王都鎬在畿
也內不可王弗聽三十九年戰于千畝王師敗績于姜氏之戎韋昭曰
西夷別
仲山甫諫曰民不可料也宣王不聽卒料民四十六年宣王崩子
幽王宮涅立徐廣曰一作生幽王二年西周三川皆震徐廣曰涇渭洛也騶索韋昭曰
西周鎬京地震動故三川亦動
伯陽甫曰周將亡矣韋昭曰伯陽父周柱下史老子也夫天地之氣不失其序
若過其序民亂之也韋昭曰過失也言
民不敢斥王者也陽伏而不能出陰迫而不能蒸
韋昭曰蒸升也陽氣在下
陰氣迫之使不能升也於是地有地震今三川實震是陽失其所而填陰
也韋昭曰爲陰
所鎮管也陽失而在陰韋昭曰在
陰下也原必塞原塞國必亡夫水土演而
民用也韋昭曰水土氣通爲演演猶
潤也演則生物民得用之土無所演民乏財用不亡何待昔伊

洛陽 四十六年、宣王崩ず。子幽王宮涅

(きゆうでつ)立つ。

幽王二年、西周三川皆震す*。

伯陽甫曰く「周、將に滅びんと

す」と。

*涇水、渭水、洛水の三つの川が地震に
よって決壊したことを指す。周の太史で
ある伯陽甫は、こうした天変地異を、幽
王が失政によって天命を失い、周が滅亡
する予兆と考えたのである。

以人王後宮後宮之童妾既亂而遭之韋昭曰毀齒曰亂女七歲而毀也既笄而孕無
 夫而生子懼而棄之宣王之時童女謠曰壓弧箕服實亡周國韋昭曰
桑曰壓弧弓也箕木名服矢房也於是宣王聞之有夫婦賣是器者宣王使執而戮之逃
 於道而見鄉者後宮童妾所棄妖子徐廣曰妖一作天天切少也出於路者聞其夜
 啼哀而收之夫婦遂亡犇於褒褒人有罪請入童妾所棄女子者
 於王以贖罪棄女子出於褒是爲褒姒當幽王三年王之後宮見
 而愛之生子伯服竟廢申后及太子以褒姒爲后伯服爲太子太
 史伯陽曰禍成矣無可奈何褒姒不好笑幽王欲其笑萬方故不
 笑幽王爲鑿鑿大鼓有寇至則舉烽火諸侯悉至至而無寇褒姒
 乃大笑幽王說之爲數舉烽火其後不信諸侯益亦不至幽王以
 號石父爲卿用事國人皆怨石父爲人佞巧徐廣曰佞一作諂善諛好利王
 用之又廢申后去太子也申侯怒與繒西夷犬戎攻幽王幽王舉

司馬遷『史記』周本紀

褒姒は笑うを好まず。幽王、其の
 笑わんことを欲す。萬方すれども故
 (ことさら)らに笑わず。



以人王後宮後宮之童妾既亂而遭之韋昭曰毀齒曰亂女七歲而毀也既笄而孕無夫而生子懼而棄之宣王之時童女謠曰檠弧箕服實亡周國韋昭曰檠弧矢也於是宣王聞之有夫婦賣是器者宣王使執而戮之逃於道而見鄉者後宮童妾所棄妖子徐廣曰妖一作天夭切少也出於路者聞其夜啼哀而收之夫婦遂亡犇於褒褒人有罪請入童妾所棄女子者於王以贖罪棄女子出於褒是爲褒姒當幽王三年王之後宮見而愛之生子伯服竟廢申后及太子以褒姒爲后伯服爲太子太史伯陽曰禍成矣無可奈何褒姒不好笑幽王欲其笑萬方故不笑幽王爲粼粼大鼓有寇至則舉烽火諸侯悉至至而無寇褒姒乃大笑幽王說之爲數舉烽火其後不信諸侯益亦不至幽王以號石父爲卿用事國人皆怨石父爲人佞巧徐廣曰佞一作諂善諛好利王用之又廢申后去太子也申侯怒與繒西夷犬戎攻幽王幽王舉

司馬遷『史記』周本紀

幽王、烽火燧・大鼓を為り、寇の至る有れば則ち烽火を挙ぐ。諸侯悉く至る。至れども寇無し。褒姒乃ち大いに笑う。幽王、之を説(よろこ)び、為に數(しばしば)烽火を挙ぐ。其の後、信ぜず。諸侯益(ますます)亦た至らず。



司馬遷『史記』周本紀

また申后を廢し、太子を去る。申侯怒り、繒・西夷・犬戎と与に幽王を攻む。幽王、烽火を挙げて兵を徵す。兵、至るもの莫し。遂に幽王を驪山(りざん)の下に殺し、褒姒を虜にし、盡く周の賂(たから)を取りて去る。

而愛之生子伯服竟廢申后及太子以褒姒為后伯服為太子太史伯陽曰禍成矣無可奈何褒姒不好笑幽王欲其笑萬方故不笑幽王為褒姒大鼓有寇至則舉烽火諸侯悉至至而無寇褒姒乃大笑幽王說之為數舉烽火其後不信諸侯益亦不至幽王以號石父為卿用事國人皆怨石父為人佞巧一作諂善諛好利王用之又廢申后去太子也申侯怒與繒西夷犬戎攻幽王幽王舉

烽火徵兵兵莫至遂殺幽王驪山下虜褒姒盡取周賂而去汲冢紀

武王滅殷以至幽王凡二百五十七年也於是諸侯乃即申侯而共立故幽王太子宜臼是為

平王以奉周祀平王立東遷于維周禮曰九命作伯鄭碎戎寇平王之時周室衰微

諸侯強并弱齊楚秦晉始大政由方伯梁云長諸侯為方伯四十九年魯

隱公即位五十一年平王崩太子洩父蚤死立其子林是為桓王

桓王平王孫也桓王三年鄭莊公朝桓王不禮五年鄭怨與魯易

許周幽王關係凶大山田也八年魯殺隱公立桓公十三年

代鄭鄭射傷桓王桓王去歸二十三年桓王崩子莊王他立莊王

四年周幽王死辛伯告王申后而立王子克周禮曰九命作伯鄭太子宜臼周禮曰九命作伯鄭

王殺周公子王子克再葬周禮曰九命作伯鄭太子宜臼周禮曰九命作伯鄭

齊桓公始周禮曰九命作伯鄭立惠王二年初莊王嬖嬖姚

生子虢周禮曰九命作伯鄭故大夫



司馬遷『史記』周本紀

是に於いて諸侯乃ち申侯に即きて、共に故幽王の太子宜臼を立つ。是れを平王と為し、以て周の祀りを奉ぜしむ。平王立ち、東して雒邑(現在の洛陽)に遷り、戎の寇を辟く。

平王の時、周室衰微し、諸侯、強きは弱きを并せ、齊・楚・秦・晋、始めて大なり。政は方伯に由る。方故不笑幽王為褒姒大鼓有寇至則舉烽火諸侯悉至至而無寇褒姒乃大笑幽王說之為數舉烽火其後不信諸侯益亦不至幽王以號石父為卿用事國人皆怨石父為人佞巧一作曰佞善諛好利王用之又廢申后去太子也申侯怒與繒西夷犬戎攻幽王幽王舉

烽火徵兵兵莫至遂殺幽王驪山下虜褒姒盡取周賂而去汲冢紀

武王滅殷以至幽王凡二百五十七年也於是諸侯乃即申侯而共立故幽王太子宜臼是為

平王以奉周祀平王立東遷于維邑碎戎寇平王之時周室衰微

諸侯強并弱齊楚秦晉始大政由方伯周禮曰九命作伯鄭衆云長諸侯為方伯四十九年魯

隱公即位五十一年平王崩太子洩父蚤死立其子林是為桓王

桓王平王孫也桓王三年鄭莊公朝桓王不禮五年鄭怨與魯易

許田許田天子之用事太山田也八年魯殺隱公立桓公十三年

周幽王關係図

申侯——申后

└太子宜臼(東周の平王)



周 BC1046?-BC256

周

西周の都・鎬京



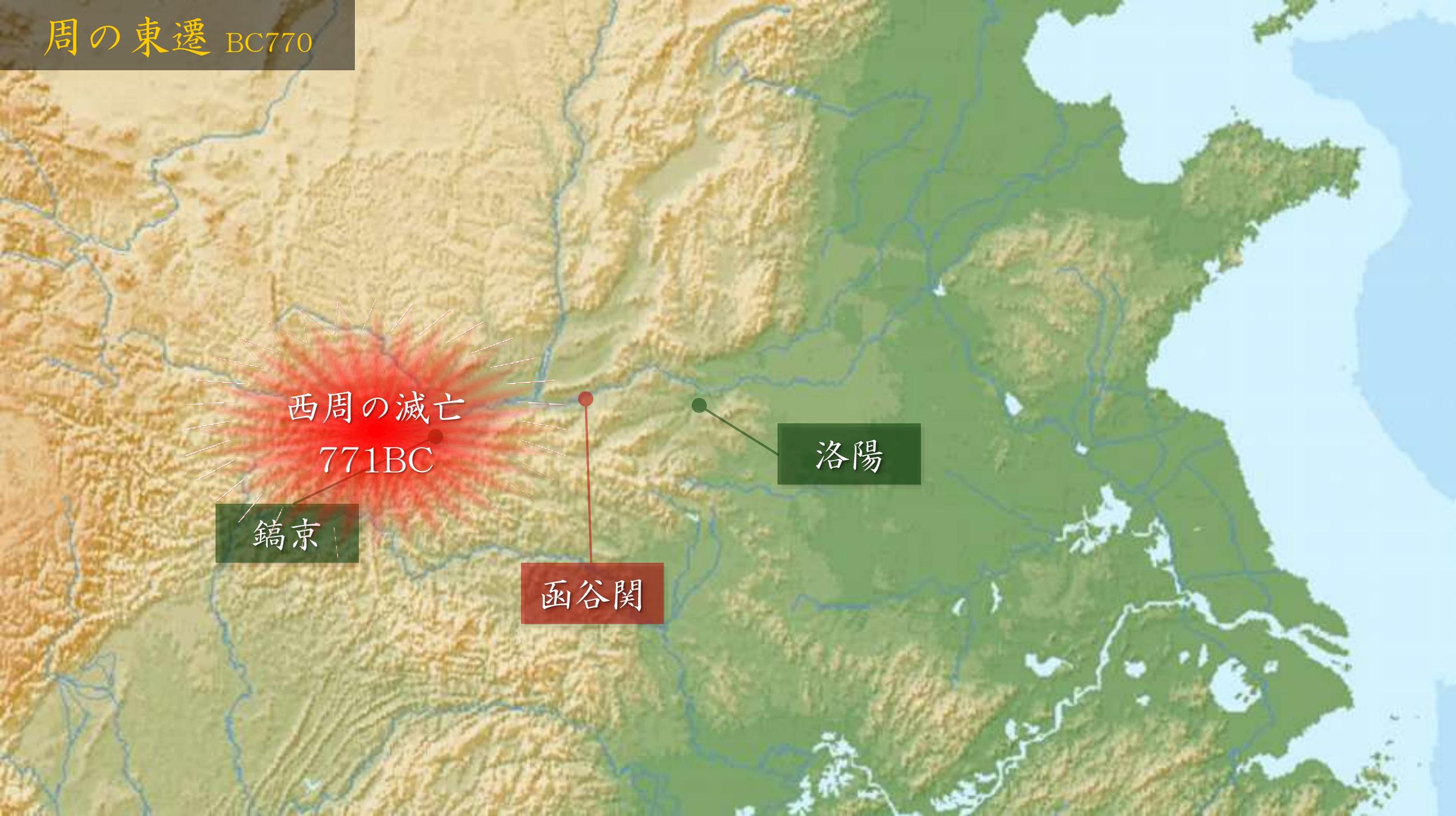
周の東遷 BC770

西周の滅亡
771BC

鎬京

洛陽

函谷関



1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-



周の青銅器はなぜ埋められたのか
殷王朝とは異なり、周王朝はそ
實在を証明する大盂鼎などの青銅器
が、早くから出土していた。
これらの青銅器はなぜ埋められ
たのか？

残された青銅器

〔解説〕

突然の遷都のため、運ぶことができなかった大型の青銅器は、周の故地である周原（陝西省岐山県と扶風県一帯）の地中に埋められた。

しかし周が再びこの地に都を戻すことはなかったため、それらの青銅器は埋められたままとなった。

前回の授業で紹介した大盂鼎も、清の道光初年（一八二一〜三〇）に、周の故地陝西省郿県礼村で出土した。



大盂鼎 (B.C.1000頃)

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
晋 265-316		

五胡十六国時代	東晋 317-420
---------	------------

北朝 439-589	南朝 420-589
------------	------------

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼	北宋 960-1127
---	-------------

金 1115-1234	南宋 1127-1279
-------------	--------------

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

春秋戦国時代の始まり

〔解説〕

紀元前七七〇年に都を洛陽に遷して以降、周室は衰微し、秦が再び全土を統一するまでの五百年あまりの間、中国は弱肉強食の戦乱の時代を迎える。

この時代を春秋戦国時代という。



第二節

孔子

秩序ある平和な世界を求めて

秩序ある平和な世界を求めて

〔解説〕

五百年あまりに及ぶ戦乱の中、中国には諸子百家と呼ばれる数多くの思想家が登場した。

思想家たちが百家争鳴する中、人への愛を説き、普遍的な人間の生き方を語ることで、秩序ある平和な世界を築こうとした思想家がいた。孔子である。

孔子はどのような生涯を歩み、その思想は今日の私たちにどのような影響を与えているのだろうか



CCTV 高清

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

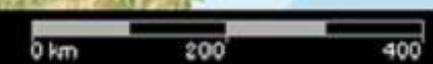
中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

孔子、魯に生まれる (551BC)

1600BC
 1500BC
 1400BC
 1300BC
 1200BC
 1100BC
 1000BC
 900BC
 800BC
 700BC
 600BC
 500BC
 400BC
 300BC
 200BC
 100BC
 0
 100
 200
 300
 400
 500
 600
 700
 800
 900
 1000
 1100
 1200
 1300
 1400
 1500
 1600
 1700
 1800
 1900
 2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589		南朝 420-589
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民國 1912-1949		
中華人民共和國 1949-		



「野合而生」

孔子は中国、春秋時代の思想家で、儒家の祖。名は丘、字は仲尼といい、紀元前五五二年、魯の昌平郷聊邑（すうゆう）に生まれた。

『史記』によれば、孔子の父・叔梁紇と母・顔徴在は、孔子を「野合して生んだ」という。下級の武人であった父は孔子が幼い頃に戦死したため、孔子は母に育てられたという。



年号	西暦	年齢	出来事
襄公21年	552BC	0歳	孔子、魯に生まれる。生後まもなく父・叔梁紇、没 * 史記の説。公羊伝や穀梁伝は孔子の生年を襄公21年とする * 孔子は“野合而生”（私生児）であったため、父の墓所さえ知らされなかった
昭公13年	529BC	22歳	母の顔徴在、没 * シングルマザーとして自分を育ててくれた母の死ぬと、孔子は父の墓を探して二人を合葬した
25年	517BC	34歳	昭公、三桓討伐に失敗、齊に亡命。孔子も後を追う * この外遊中に齊で古代の舜の音楽である韶を聞く（齊の景公に拝謁したのもこのころ?）
26年	516BC	35歳	齊から魯に帰り、塾を開いて後進の指導を始める
32年	510BC	41歳	魯の昭公、亡命先の齊で没
定公9年	501BC	50歳	魯に仕官、中都の宰となる
12年	498BC	53歳	大司寇となり三桓の勢力を抑えようとするが失敗
13年	497BC	54歳	魯を去り、こののち十三年間、列国を放浪
哀公11年	484BC	67歳	放浪を終え、魯に帰る * この年、子の鯉が亡くなったのを始めとして、数年の間に愛弟子の顔回や子路を相継いで亡くす
14年	481BC	70歳	魯の哀公、麟を捕獲し、孔子、嘆く
16年	479BC	72歳	没 曲阜北郊の泗水のほとりに葬られる

挫折から教団の結成へ

当時、魯の国政は三桓と呼ばれる有力貴族によって壟断されていた。魯の昭公はこれらの勢力を抑えようとしたが、逆に国を追われ、齊に亡命した。

昭公の後を追って齊に行った孔子は、齊に伝わっていた周の秩序ある儀礼や制度に感銘を受け、齊の景公にその復興を訴えた。しかし、その迂遠な思想は受け入れられず、孔子は魯に帰って塾を開き、弟子たちの育成に努めた。



年号	西暦	年齢	出来事
襄公21年	552BC	0歳	孔子、魯に生まれる。生後まもなく父・叔梁紇、没 * 史記の説。公羊伝や穀梁伝は孔子の生年を襄公21年とする * 孔子は“野合而生”（私生児）であったため、父の墓所さえ知らされなかった
昭公13年	529BC	22歳	母の顔徴在、没 * 母の死後、孔子は父の墓を探し出し、二人を合葬した
25年	517BC	34歳	昭公、三桓討伐に失敗、齊に亡命。孔子も後を追う * この外遊中に齊で古代の舜の音楽である韶を聞く（齊の景公に拝謁したのもこのころ?）
26年	516BC	35歳	齊から魯に帰り、塾を開いて後進の指導を始める
32年	510BC	41歳	魯の昭公、亡命先の齊で没
定公9年	501BC	50歳	魯に仕官、中都の宰となる
12年	498BC	53歳	大司寇となり三桓の勢力を抑えようとするが失敗
13年	497BC	54歳	魯を去り、こののち十三年間、列国を放浪
哀公11年	484BC	67歳	放浪を終え、魯に帰る * この年、子の鯉が亡くなったのを始めとして、数年の間に愛弟子の顔回や子路を相継いで亡くす
14年	481BC	70歳	魯の哀公、麟を捕獲し、孔子、嘆く
16年	479BC	72歳	没 曲阜北郊の泗水のほとりに葬られる

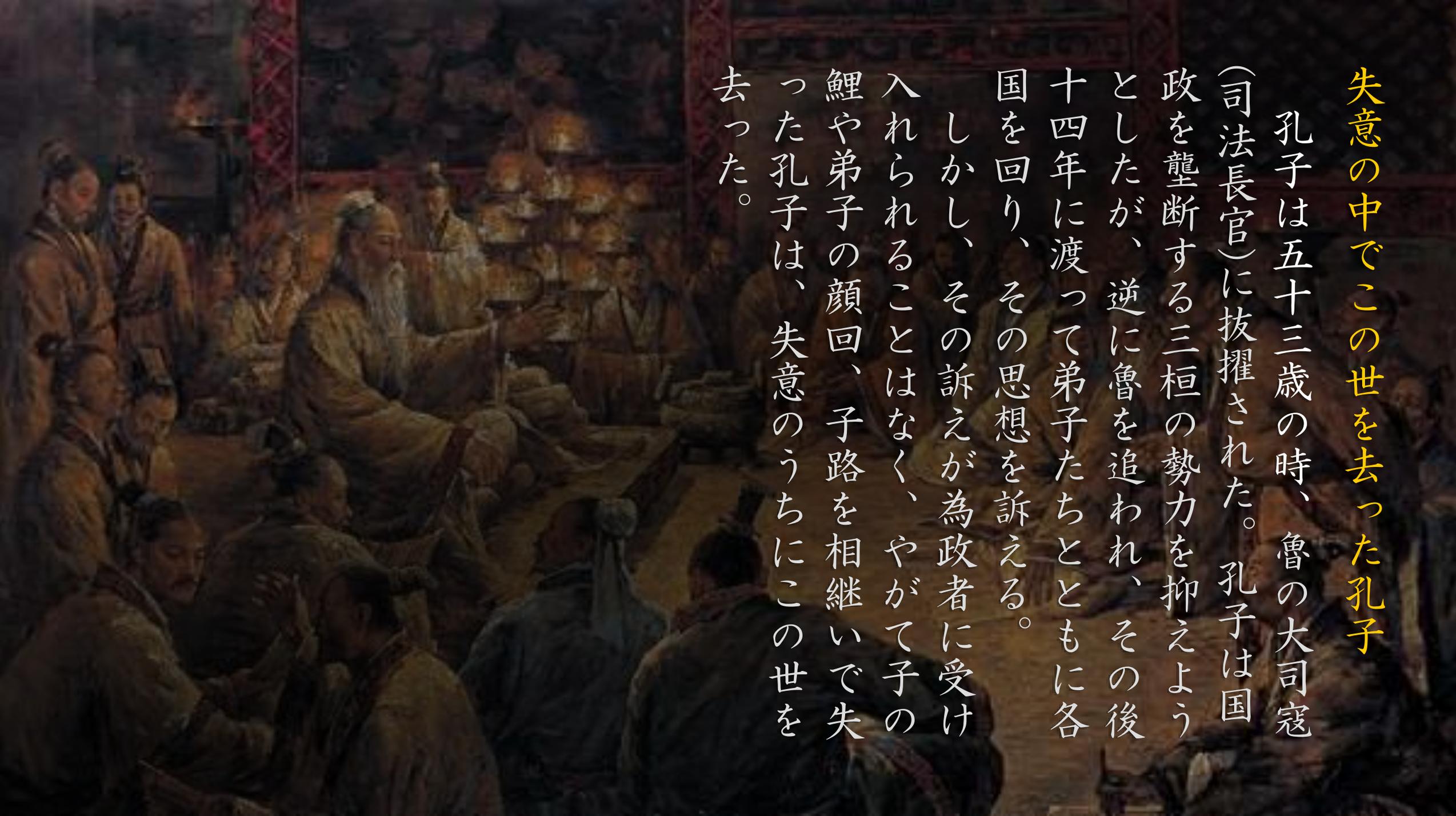




失意の中でこの世を去った孔子

孔子は五十三歳の時、魯の大司寇（司法長官）に抜擢された。孔子は国政を壟断する三桓の勢力を抑えようとしたが、逆に魯を追われ、その後十四年に渡って弟子たちとともに各国を回り、その思想を訴える。

しかし、その訴えが為政者に受け入れられることはなく、やがて子の鯉や弟子の顔回、子路を相継いで失った孔子は、失意のうちにこの世を去った。



年号	西暦	年齢	出来事
襄公21年	552BC	0歳	孔子、魯に生まれる。生後まもなく父・叔梁紇、没 * 史記の説。公羊伝や穀梁伝は孔子の生年を襄公21年とする * 孔子は“野合而生”（私生児）であったため、父の墓所さえ知らされなかった
昭公13年	529BC	22歳	母の顔徴在、没 * 母の死後、孔子は父の墓を探し出し、二人を合葬した
25年	517BC	34歳	昭公、三桓討伐に失敗、齊に亡命。孔子も後を追う * この外遊中に齊で古代の舜の音楽である韶を聞く（齊の景公に拝謁したのもこのころ?）
26年	516BC	35歳	齊から魯に帰り、塾を開いて後進の指導を始める
32年	510BC	41歳	魯の昭公、亡命先の齊で没
定公9年	501BC	50歳	魯に仕官、中都の宰となる
12年	498BC	53歳	大司寇となり三桓の勢力を抑えようとするが失敗
13年	497BC	54歳	魯を去り、こののち十三年間、列国を放浪
哀公11年	484BC	67歳	放浪を終え、魯に帰る * この年、子の鯉が亡くなったのを始めとして、数年の間に愛弟子の顔回や子路を相継いで亡くす
14年	481BC	70歳	魯の哀公、麟を捕獲し、孔子、嘆く
16年	479BC	72歳	没 曲阜北郊の泗水のほとりに葬られる



御製

論

論

御製
論
論

孔子思想とは？

論語為政第二

子曰く、之を道(みちび)くに政を以てし、之を齊(と)のうるに刑を以てすれば、民は免れて恥無し。之を道(みちび)くに徳を以てし、之を齊(と)のうるに礼を以てすれば、恥あり且つ格(ただ)す。

子曰詩三百(註) 孔曰篇之大數一言以蔽之(註) 包曰蔽

猶當也曰思無邪(註) 包曰歸於正(註) 正義曰此章言

為政之道在於去邪歸正故舉詩要當一句以言之詩三百者言詩篇之大數也一言以蔽之者蔽猶當也古者謂一句為一言詩雖有三百篇之多可舉一句當盡其理也曰思無邪者此詩之一言魯頌駉篇

子曰道之以政(註) 孔曰政謂法教(註) 齊之以刑(註) 馬曰齊

整之以刑罰(註) 民免而無耻(註) 孔曰免苟免(註) 道之以徳(註)

(註) 包曰徳謂道德(註) 齊之以禮有耻且格(註) 格正也(註)

子曰至且格。正義曰此章言為政以徳之效也道之以政者政謂法教道謂化誘言化誘於民以法制之命也齊之以刑者齊謂齊整刑謂刑罰言道之以刑者政而民不服者則齊整之以刑罰也民免而無耻者免苟免也言君上化民不以徳而以法刑罰則民免且格者徳謂道徳格正也言若上化民以禮則安失禮

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

孔子 (551BC~479BC)

秦の始皇帝、儒教を弾圧(焚書坑儒)

前漢武帝の時代、五経博士を置き、儒教国教化(136BC)

以後二千年以上にわたり、
中国文明の精神的支えとなる

儒教と東アジア

法律や刑罰ではなく、道徳や礼儀によつて秩序ある社会を築こうする儒教の教えは、やがて東アジアの国々にも広まつていった。

朝鮮半島では李氏朝鮮の時代に儒教が官学となり、二百年にわたる平和な時代が続いた。

論語語彙解卷之第一

學而第一

子曰一曰日學而一時習之

子曰一曰日學而一時習之

有友朋自不遠方來

不遠方來

儒教と東アジア



中国大陸



朝鮮半島



日本列島

儒教と東アジア

日本に儒教が広まるきっかけとなったのは、朝鮮の儒者との交流であつた。

秀吉の朝鮮出兵の際、被虜人として日本に拉致された朝鮮の儒者・姜沆に出会った藤原惺窩は、戦国の世を終わせ、秩序ある社会を築こうと、儒教思想を学び、弟子の林羅山を幕府に送って儒教を武士の正学とした。

その結果、東アジアには二五〇年以上にわたる平和で安定した国際秩序が続いた。詩者言詩。篇之。大數也。一言詩雖有三百篇之多。可舉一。句當盡其理也。曰思無邪者。此詩之一言。魯頌駉篇。

文也詩之為體論功頌德止辟防邪大抵皆歸於正
 故此一句可以當之也。注孔曰篇之大數。正義
 曰案今毛詩序凡三百一十一篇內六篇亡今其
 存者有三百五篇今但言三百篇故曰篇之大數

子曰道之以政注孔曰政謂法教**齊之以刑**注馬曰齊
 整之以刑罰**民免而無耻**注孔曰免苟免**道之以德**注

注包曰德謂道德**齊之以禮有耻且格**注格正也

子曰至且格。正義曰此章言為政以德也。道
 之以政者。謂法教道。謂化誘言化。誘於民以法。制
 教命也。齊之以刑者。齊謂齊整。以刑罰言。道之以
 政而民不服者。則齊整之。以刑罰也。民免而無耻者。
 免苟免也。言君上化民不以德而以法。刑罰則民
 皆巧詐。苟免也。言君上化民不以德而以法。刑罰則民
 恥且格者。德謂道德。格正也。言君上化民不以德而以
 民或末從化。則制禮以齊整。使民知有禮。則安失禮。

秀吉の朝鮮出兵と儒教



中国大陸



朝鮮半島



日本列島





姜沆 (1567-1618)



藤原惺窩 (1561-1619)



林羅山 (1583-1657)

明の滅亡と儒教



明の滅亡



朝鮮半島



日本列島



朱彞水(1600-1682)



朱彞水が設計した円月橋(小石川後樂園)

中国、塾や教室続々

儒教復権

中国で「封建主義の道徳」と批判された儒教が復権、市民生活に定着しつつある。孔子の「論語」を音読する子ども向けの塾は花盛り。ビジネスマンの儒教教室も人気だ。急速な国際化や経済成長が中国人としての自己意識を求めさせる。とはいえ、格差の拡大や拝金主義の横行には不満が強い。国民をまとめる思想を探る当局の思惑もかいま見える。(南京(中国江蘇省)＝塚本和人)

ベビーカーの「生徒」も



「子曰、学而時習之、不亦説乎」(子曰わく、学んで時にこれを習う、またよろこばしからずや)
明などの都として栄えた南京。毎週土曜日の午前、中心部の鴨鳴寺境内に論語の一節を読む大きな声が響く。小さな講堂に机が並び、壁には孔子



学而時習之、不亦説乎

の人物画「写真」がある。5〜6歳の幼稚園児約30人が親と並んで座り、唐代の古典音楽の伴奏で歌うようにリズムをつけて音読していた。1日2時間で2段落を暗記させる。
昨年3月、南京航空航天大学の講師で哲学を教える戴伝江さん(38)のグループがボランティアで始めた。幼稚園の先生らと指導法を考え、教材が低下していると危機感を抱く。「市場経済の道



儒教(孔子)と中国 春がまとめた言行書。中心思想は仁で、孝と悌(てい)の家族道徳を基礎とした。清朝末まで体制教育として機能し、20世紀に入ると封建制度を支えるとして批判され、新中国建国後も文化大革命などで攻撃された。
80年代からの改革・開放期、特に90年代以降、格差が広がるなかで「復権」。最近では中国政府が世界規模での「孔子学院」設置を始めた。



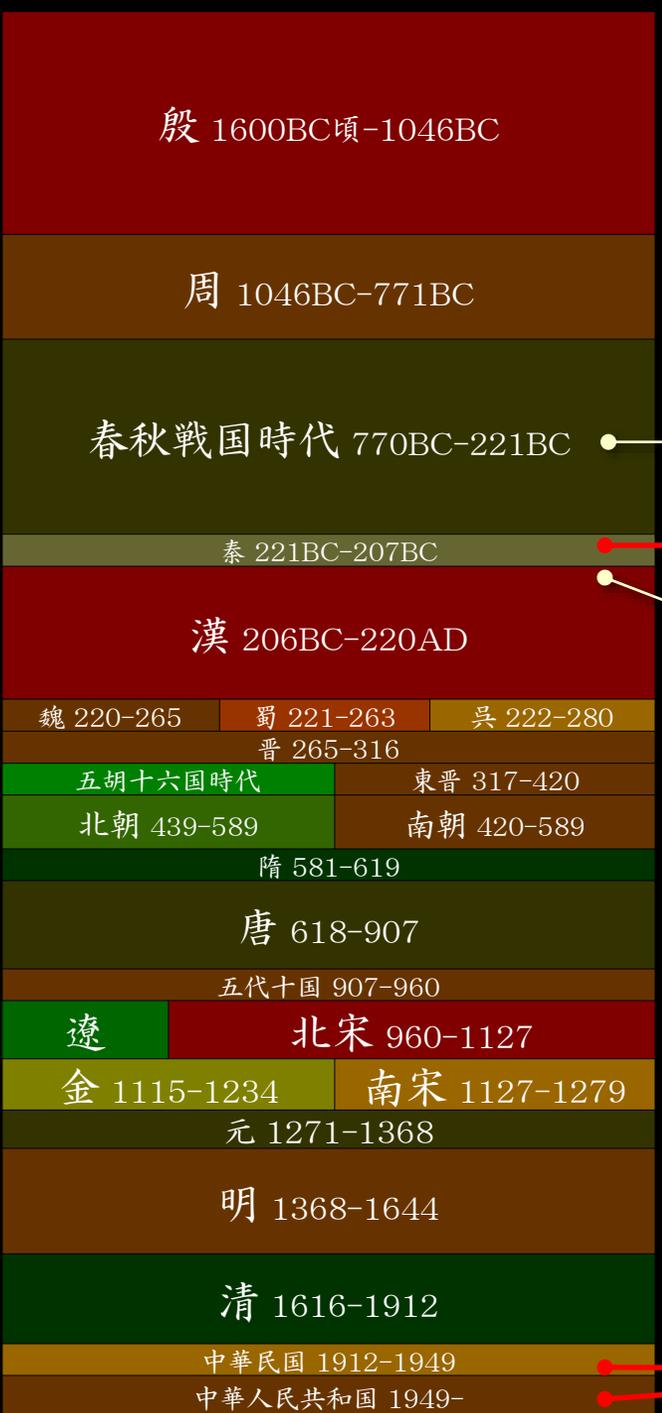
中国では、草の根的な儒教教育が呼ばれる私塾が一〇〇〇校前後開かれ、孔子の生涯を描いた映画やテレビドラマも作られている。なぜいま儒教なのだろうか？

孔子生誕祭に政府幹部の姿

孔子の故郷、山東省曲阜。孔子廟などが世界遺産に登録され、年間600万人が訪れる儒教の聖地だ。昨年9月の孔子の誕生日には、生誕2556年を記念した省政府などが主催した「国際孔子祭り」が開かれ、中央政府の幹部や企業幹部、学者ら約6千人が集った。式典では市長が祭文を読み上げた。「孔子への崇敬とともに孔子の思想が内外に広がるため」と、曲阜市共産党委員長が演説する。
「孔子学院」は世界の儒教研究の中心と、めざすと

徳として儒教思想は必要だ。教室は学者としての責任感から始めた。政治思想として教えるわけではない」と言う。
5歳の一人息子を通わせる母親34は「競争の世の中でも、物事の道理は分かる大人になって欲しい」。自宅でも論語のCDを流し、家族そろって論語漬けの日々だ。
南京では公立の幼稚園や小学校の一部でも儒教思想を教えるが、教師次第。子どもに精神修養や教養をと願う親は増え、市内にある論語の教室は少なくとも5カ所。

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000



孔子 (551BC~479BC)

秦の始皇帝、儒教を弾圧(焚書坑儒)

五経博士を置き、儒教国教化(136BC)

以後二千年以上にわたり、
中国文明の精神的支えとなる

五四運動や文化大革命による儒教批判

儒教の復権

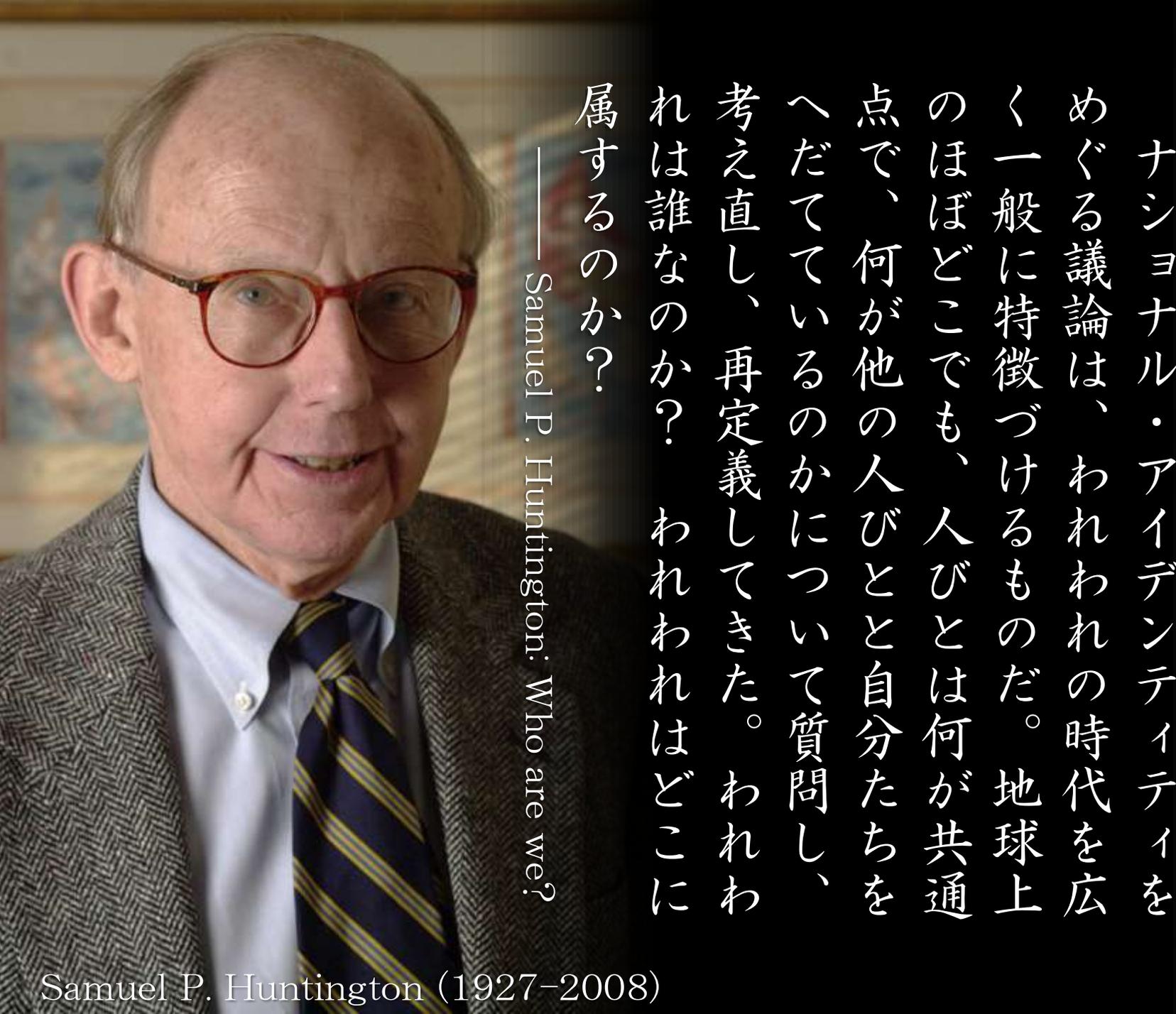
「競争の世の中でも、物事の道理は分かる大人になって欲しい」

——五歳の一人息子を教室に通わせる母

親(三十四歳)

朝日新聞二〇〇六年五月五日朝刊



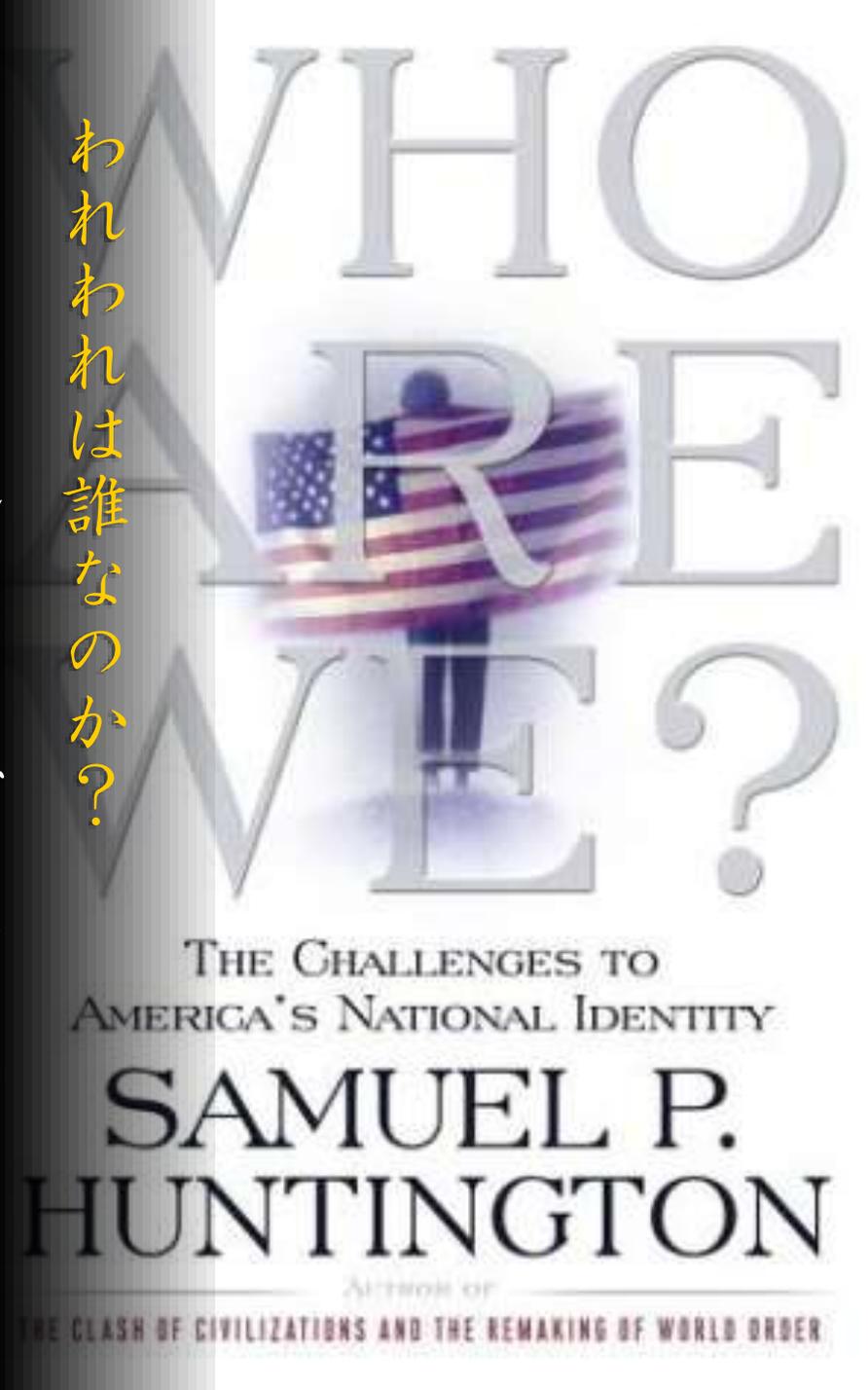


われわれは誰なのか？

ナショナル・アイデンティティをめぐる議論は、われわれの時代を広く一般に特徴づけるものだ。地球上のほぼどこでも、人びとは何が共通点で、何が他の人びとと自分たちをへだてているのかについて質問し、考え直し、再定義してきた。われわれは誰なのか？ われわれはどこに属するのか？

—— Samuel P. Huntington: Who are we?

Samuel P. Huntington (1927-2008)





Samuel P. Huntington (1927-2008)

—— Samuel P. Huntington: Who are we?

日本人は地理上の位置と歴史および文化ゆえに自分たちの国がアジアに属するのか、それとも経済力と民主主義および近代性ゆえに欧米に近いのかという問題に苦しんでいる。

われわれは誰なのか？



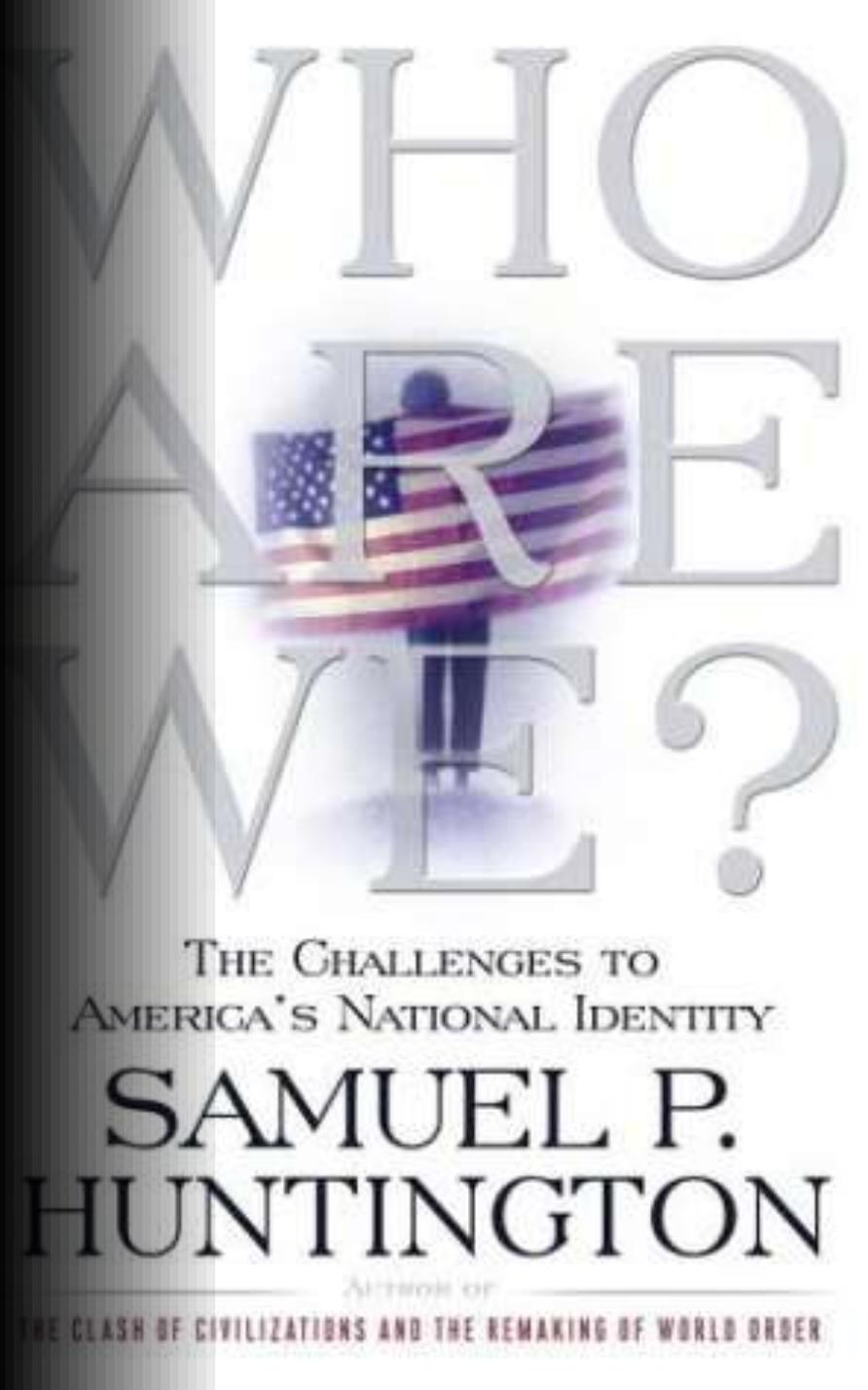
THE CHALLENGES TO
AMERICA'S NATIONAL IDENTITY
SAMUEL P.
HUNTINGTON
Author of
THE CLASH OF CIVILIZATIONS AND THE REMAKING OF WORLD ORDER



Samuel P. Huntington (1927-2008)

われわれは誰なのか？
中国は「ナショナル・アイデンティティの追求」をしており、一方、台湾は「ナショナル・アイデンティティの解消と再構築」に関わっているという。

—— Samuel P. Huntington: Who are we?



まとめ

■ 周の東遷の後、中国は紀元前八世紀から紀元前三世紀にかけて五五〇年に及ぶ戦乱と下剋上の時代を迎える。春秋戦国時代である。

■ 紀元前五五一年に魯の国に誕生した孔子は、周代の秩序ある社会を手本に戦乱の世を正そうと、五経と呼ばれるテキストを使って多くの弟子たちを教育した。

■ 中国では漢代に儒教が国教となり、その後二千年にわたって中華文明の精神的支えとなった。

■ 朝鮮半島では李氏朝鮮の時代に儒教が官学となり、日本でも江戸時代に儒教が正学となると、東アジアに二五〇年に及ぶ平和で安定した国際秩序が形成された。

参考文献

- 金谷治『論語の世界』（日本放送出版協会、1970年）
- 中島敦「弟子」（中島敦全集ほか）
- 小倉芳彦訳『春秋左氏伝』（岩波文庫 1988年）